

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 研究課題番号 | SⅡ-2-2                        |
| 研究課題名  | 海洋プラスチックごみ及びその含有化学物質による生態影響評価 |
| 研究実施期間 | 平成30年度～令和2年度                  |
| 研究機関名  | 東京農工大学                        |
| 研究代表者名 | 高田 秀重                         |

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

マイクロプラスチック研究で、十分に取り組みられてこなかった添加剤として難燃剤成分に加えて、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤 (UV-326, 327, 328) のペレットや生物 (カジカや海鳥) 中の検出や挙動に関する成果が得られている。貴重な成果で、今後も世界をリードする研究継続を期待している。マイクロプラスチック (MP) の環境排出と生物取り込みに関する新規性のある実験データが得られた点が評価できる。これらはMPの環境影響を評価するデータとして役立つので、行政貢献も大きい。論文、対話、メディア、受賞とも高い成果である。各種会合で展開することにより、環境政策や意識醸成への貢献も見られる。本研究で取り上げた微細粒子 (2~200  $\mu\text{m}$ ) の海洋での挙動とリンクすることでの次の展開が期待される。

#### 2. 採点結果

評価ランク : S